

# 一 般 質 問

## 問われる屋代川の 河川保全・清掃のあり方！

神 岡 光 人 議 員

**問** 明治19年の郷の坪での洪水は、100名を越す死者と60戸余りの家屋流失という大災害であったと記されている。梅雨と台風シーズンを迎え、屋代川の河川管理が気になりである。下流域の土砂堆積は取り除いているが、郷の坪・神領流域の大きなゴロ石は一向に取り除かないが、何か理由があるのか。県の河川保全管理の考え方、今後の方針を問う。また、町として出来ることはないのかを問う。



**答** (町長) 県の計画では、屋代川は、引き続き下流域から浚渫を行なう予定。郷の坪

地域の実情は、周知しているとのことから、町としては、早急な対応を強く要望していく。

**問** 毎年春、地域住民の手で屋代川の清掃(草刈)を行っている。大変結構であるが、河川清掃は特にごろ石が多く危険であり、よろければ骨折、大怪我にもなりかねない。

責任問題も絡みます。自主活動参加は、各自治会によって取り扱いが様々で、不参加の場合、日当徴収もあると聞く。危険を伴う作業はさせないで県又は町で管理すべきであると思うがいかがか。

**答** (町長) 皆さんのご協力に感謝している。危険な箇所は、県で行なうよう強く要望していく。



屋代川上流域

## 今後の高潮対策は！！

中 本 博 明 議 員

**問** 安高離岸堤について16年12月議会で要望したところ、新規計画については、全体計画策定時に再度検討したいとの回答であったが、その後どうなっているか？



**答** (町長) 安高地区離岸堤は、新規箇所であり、漁業権等の配慮も必要な場所である為、早急な対応は困難であった。護岸の嵩上げによる越波対策として、延長220m、嵩上げ高50cmの工事を実施した。離岸堤又は護岸の嵩上げ、消波ブロック設置等の事業は、町民の生命・財産・国土を

守る重要な施策の一つと位置づけ、今後もその地域に適した防護対策を検討していく。

**問** 最近空き巣が入ったとよく耳にするが、町として何か対策を考えているか。

**答** (町長) 空き巣対策として、高齢者向けに、外出の際の「鍵かけ」などを、広報紙や防災行政無線を通じて一層強化していきたいと考えている。又大島幹部交番に、パトロールの強化も引き続きお願いしたい。



嵩上げされた安高護岸